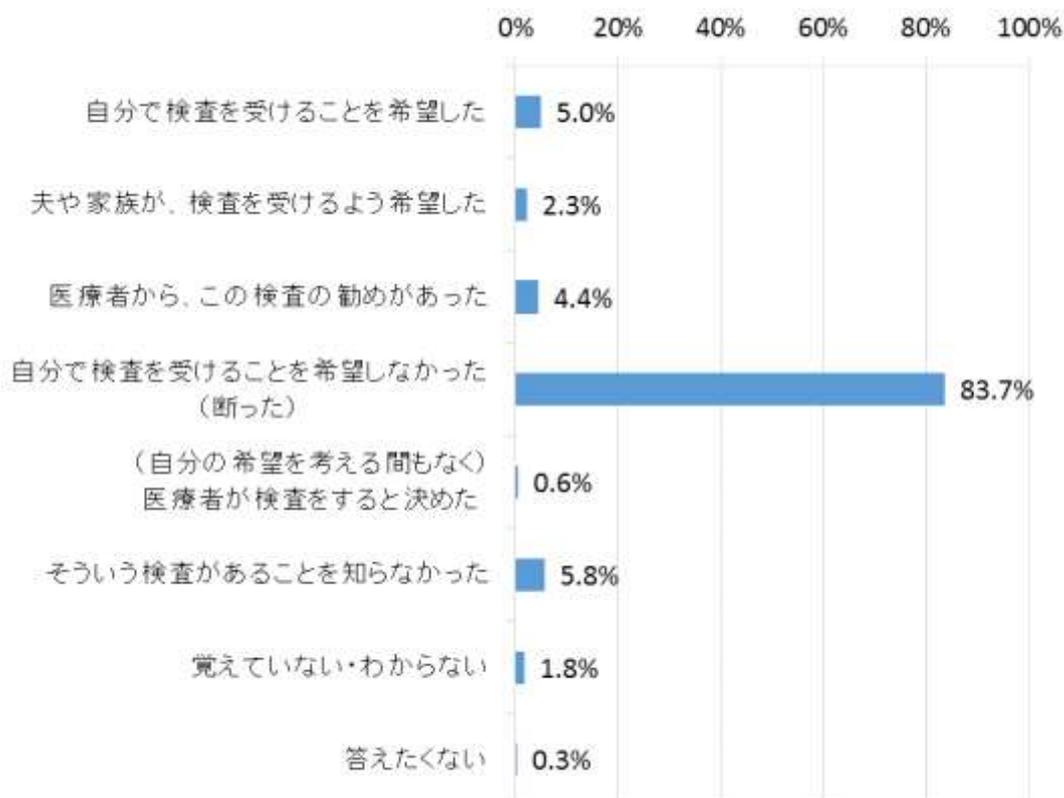


2-5 羊水検査の経験

◇2-5-1 誰が羊水検査を希望したか

「一番最近の妊娠時に、羊水検査についてあなたの状況にあてはまるものをすべてお選びください」という質問に、「自分で検査を受けることを希望した」、「夫や家族が、検査を受けるよう希望した」、「医療者から、この検査の勧めがあった」、「自分で検査を受けることを希望しなかった（断った）」、「(自分の希望を考える間もなく) 医療者が検査をすると決めた」、「そういう検査があることを知らなかった」、「覚えていない・わからない」、「答えたくない」で回答してもらった。

「自分で検査を受けることを希望しなかった（断った）」は 1858 (83.7%)、「そういう検査があることを知らなかった」は 129 (5.8%)、「自分で検査を受けることを希望した」は 111 (5.0%)、「医療者から、この検査の勧めがあった」は 97 (4.4%)、「夫や家族が、検査を受けるよう希望した」は 51 (2.3%)、「(自分の希望を考える間もなく) 医療者が検査をすると決めた」は 13 (0.6%)、「覚えていない・わからない」は 40 (1.8%)、「答えたくない」は 6 (0.3%) だった。「自分で検査を受けることを希望しなかった（断った）」が約 8 割と大多数だった。 (n = 2221)

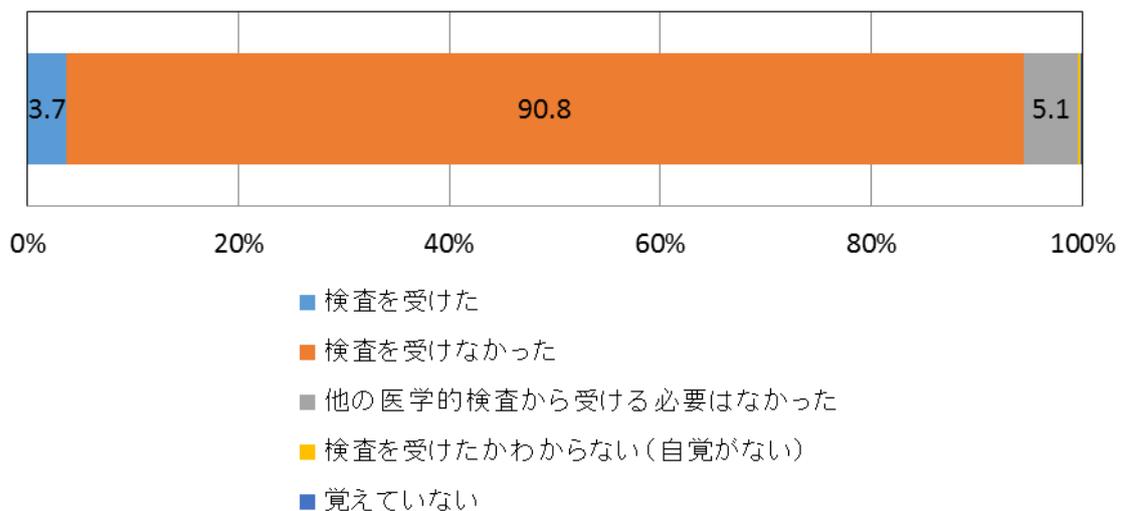


◇2-5-2 羊水検査を受けたか

「一番最近の妊娠時に、あなたは羊水検査を受けましたか」という質問に、「検査を受けた」「検査を受けなかった」、「他の医学的検査から受ける必要はなかった」、「検査を受けたかわからない（自覚がない）」、「覚えていない」で回答してもらった。

「検査を受けなかった」は2016（90.8%）で最も多かった。「他の医学的検査から受ける必要はなかった」が114（5.1%）、「検査を受けた」が82（3.7%）、「検査を受けたかわからない（自覚がない）」が6（0.3%）、「覚えていない」が3（0.1%）だった。羊水検査を受けたと回答した人の割合は、2013年調査の結果（保育園調査6.9% 医療機関調査2.8%）と同程度だった。

(n = 2221)

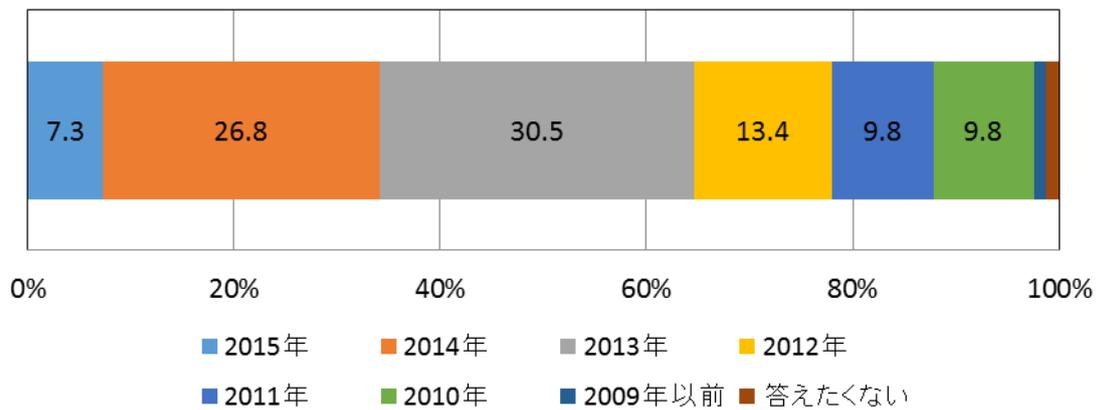


◇2-5-3 羊水検査を受けた時期

羊水検査を受けたと回答した 82 名に、「前の質問で答えた検査を受けた時期を教えてください。2 回以上受けた方は、直近の時期をお答えください」と尋ね、2009 年以前、2010 年から 2015 年までの年、「答えたくない」で回答してもらった。

2013 年が 25 名 (30.5%)、2014 年が 22 名 (26.8%)、2012 年が 11 名 (13.4%)、2011 年と 2010 年が各 8 名 (各 9.8%)、2015 年が 6 名 (7.3%)、2009 年以前が 1 名 (1.2%)、「答えたくない」が 1 名 (1.2%) だった。2012 年から 2014 年までに受けた人が 7 割以上を占めた。

(n = 82)



◇2-5-4 医療者からの説明

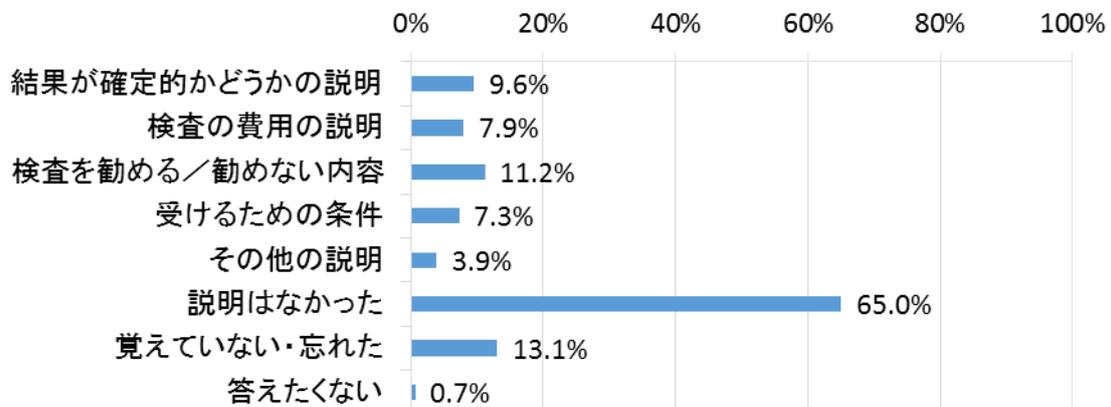
下記の検査に関する解説文をつけた上で、「医療者から以下の検査について、検査の目的、方法、リスクなどを説明されましたか。それぞれの検査について、あてはまるものをすべてお選びください。」という質問に、「結果が確定的かどうかの説明」、「検査の費用の説明」、「検査を勧める／勧めない内容」、「受けるための条件」、「その他の説明」、「説明はなかった」、「覚えていない・忘れた」、「答えたくない」から回答してもらった。

羊水検査では、「結果が確定的かどうかの説明」は 213 (9.6%)、「検査の費用の説明」は 176 (7.9%)、「検査を勧める／勧めない内容」は 249 (11.2%)、「受けるための条件」は 163 (7.3%)、「その他の説明」は 86 (3.9%)、「説明はなかった」は 1444 (65.0%)、「覚えていない・忘れた」は 290 (13.1%)、「答えたくない」は 15 (0.7%) だった。

(n = 2221)

【羊水検査】

羊水検査とは、妊娠中期に行われる検査で、お腹から子宮に針を刺して羊水をとり、羊水の成分や羊水中の胎児の細胞を調べるための検査です。

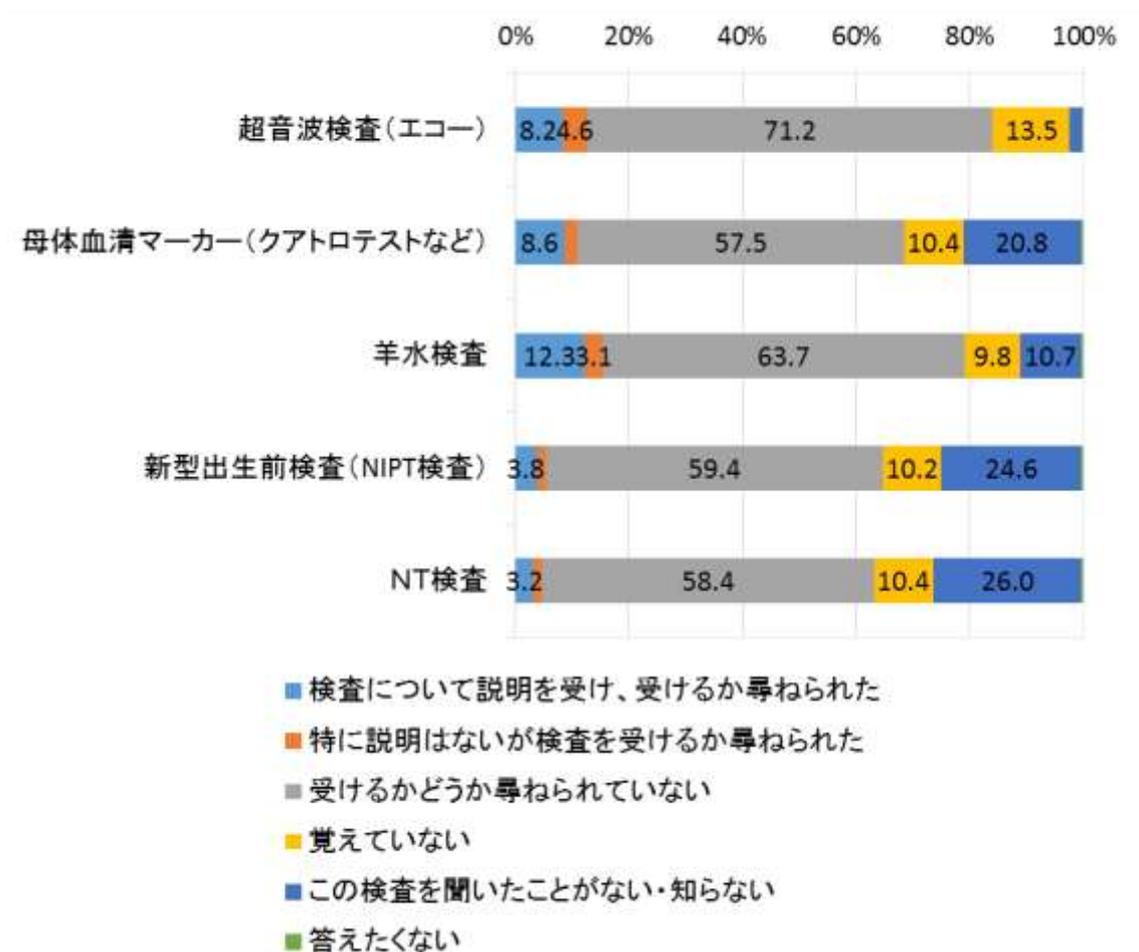


◇2-5-5 医療者からの「検査を受けるかどうか」についての質問

前述の検査に関する解説文をつけた上で、「一番最近の妊娠時に、次のような検査について医療者からの質問はありましたか」という質問に、「検査について説明を受け受けるか尋ねられた」、「特に説明はないが検査を受けるか尋ねられた」、「受けるかどうか尋ねられていない」、「覚えていない」、「この検査を聞いたことがない・知らない」、「答えたくない」で回答してもらった。

羊水検査では「検査について説明を受け受けるか尋ねられた」は 274 (12.3%)、「特に説明はないが検査を受けるか尋ねられた」は 69 (3.1%)、「受けるかどうか尋ねられていない」は 1414 (63.7%)、「覚えていない」は 217 (9.8%)、「この検査を聞いたことがない・知らない」は 237 (10.7%)、「答えたくない」は 10 (0.5%) だった。

(n = 2221)



◇2-5-6 羊水検査を受けた理由または受けなかった理由

前述の検査に関する解説文をつけた上で、羊水検査を受けた、受けなかったで以下の質問に回答してもらった。まず「検査を受けた理由についてあてはまるものをすべてお選びください」という質問に、「胎児の異常がわかるから」、「受けるのものだと思っていたから」、「医師から勧められたから」、「自分の病気などリスクが高いから」、「自分の身体の状態を知るために必要だから」、「リスクがないと思っていたから」、「妊娠の経過がわかるから」、「安心したいから」、「他の検査結果から受けた方がよいとされた」、「前の妊娠が流産・死産だったから」、「親族や知人に病気や障害がある人がいるから」、「上記のいずれもあてはまらない」、「答えたくない」で回答してもらった。また、「検査を受けなかった理由についてあてはまるものをすべてお選びください」という質問に、「自分が検査を受けたかわからない（自覚がない）」、「何の検査かよくわからなかったから」、「医師から言われなかった・勧められなかったから」、「受ける必要を感じなかった」、「産むと決めていた」、「検査をすると不安になるから」、「経済的な理由から」、「必要と思わなかったから」、「他の検査結果から受ける必要がないとされたから」、「その他」、「上記のいずれもあてはまらない」、「答えたくない」で回答してもらった。

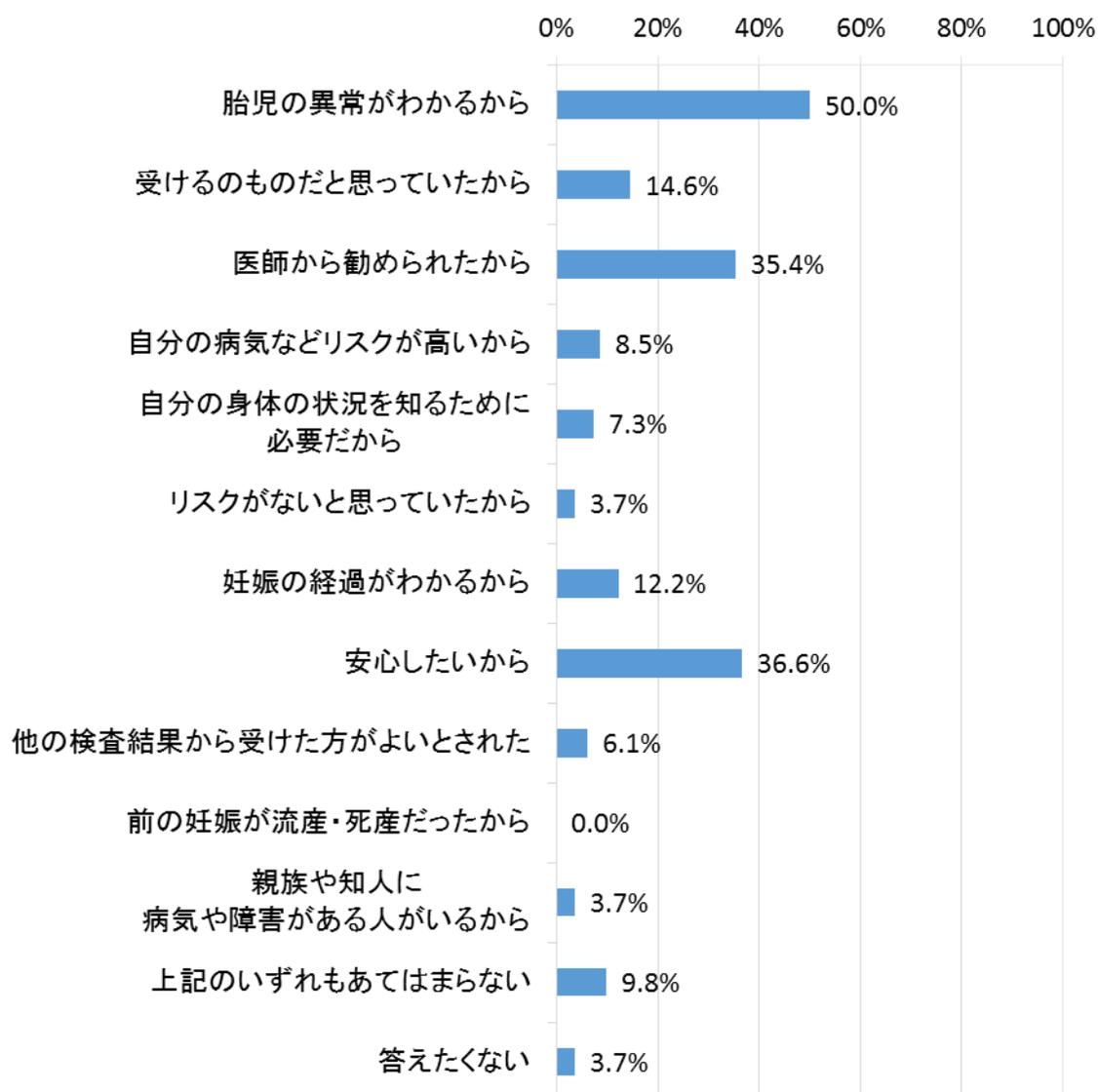
受けた理由としては、「胎児の異常がわかるから」は 41 (50.0%)、「受けるのものだと思っていたから」は 12 (14.6%)、「医師から勧められたから」は 29 (35.4%)、「自分の病気などリスクが高いから」は 7 (8.5%)、「自分の身体の状態を知るために必要だから」は 6 (7.3%)、「リスクがないと思っていたから」は 3 (3.7%)、「妊娠の経過がわかるから」は 10 (12.2%)、「安心したいから」は 30 (36.6%)、「他の検査結果から受けた方がよいとされた」は 5 (6.1%)、「前の妊娠が流産・死産だったから」は 0 (0.0%)、「親族や知人に病気や障害がある人がいるから」は 3 (3.7%)、「上記のいずれもあてはまらない」は 8 (9.8%)、「答えたくない」は 3 (3.7%) だった。 (n = 82)

受けなかった理由としては、「自分が検査を受けたかわからない（自覚がない）」は 30 (1.5%)、「何の検査かよくわからなかったから」は 29 (1.4%)、「医師から言われなかった・勧められなかったから」は 850 (42.2%)、「受ける必要を感じなかった」は 551 (27.3%)、「産むと決めていた」は 370 (18.4%)、「検査をすると不安になるから」は 168 (8.3%)、「経済的な理由から」は 73 (3.6%)、「必要と思わなかったから」は 576 (28.6%)、「他の検査結果から受ける必要がないとされたから」は 80 (4.0%)、「その他」は 82 (4.1%)、「上記のいずれもあてはまらない」は 124 (6.2%)、「答えたくない」は 12 (0.6%) だった。 (n = 2016)

受けた理由としては、「胎児の異常がわかるから」が最も多く、続いて「安心したいから」、「医師から勧められたから」だった。また、受けなかった理由としては、「医師から言われなかった・勧められなかったから」が最も多く、続いて「必要と思わなかったから」、「受ける必要を感じなかった」だった。

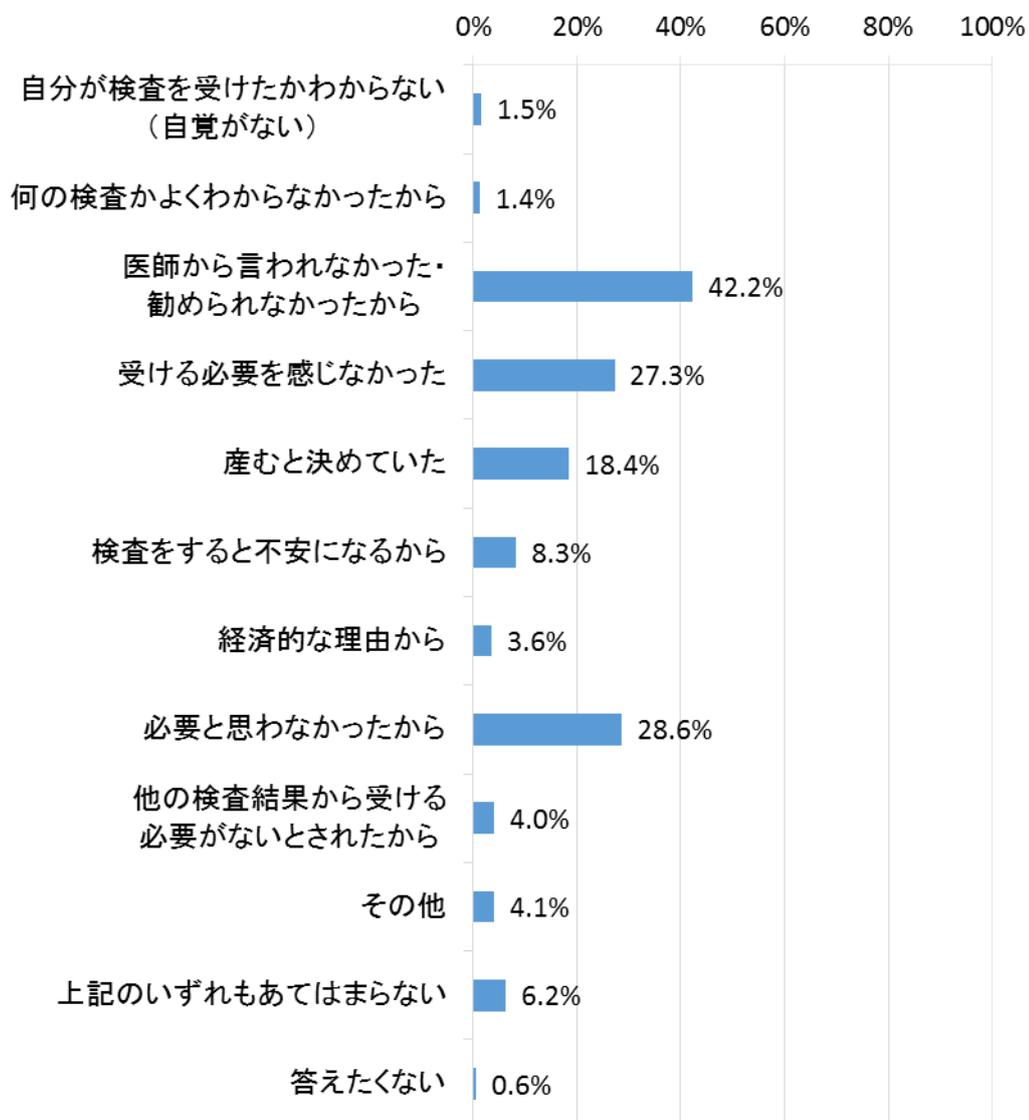
受けた理由

(n = 82)



受けなかった理由

(n = 2016)

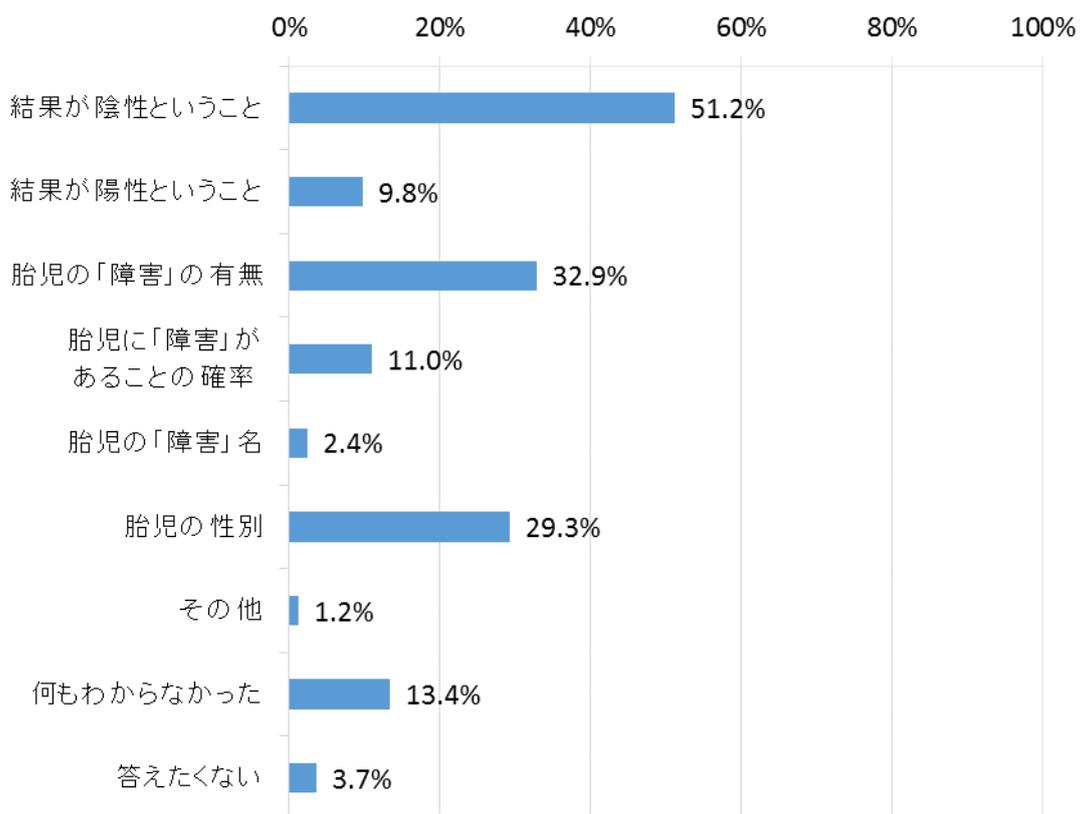


◇2-5-7 羊水検査の結果

羊水検査を受けた人を対象として、「羊水検査によって何がわかりましたか」という質問に、「結果が陰性ということ」、「結果が陽性ということ」、「胎児の「障害」の有無」、「胎児に「障害」があること確率」、「胎児の「障害」名」、「胎児の性別」、「その他」、「何もわからなかった」、「答えたくない」で回答してもらった。

「結果が陰性ということ」は 42 (51.2%)、「結果が陽性ということ」は 8 (9.8%)、「胎児の「障害」の有無」は 27 (32.9%)、「胎児に「障害」があること確率」は 9 (11.0%)、「胎児の「障害」名」は 2 (2.4%)、「胎児の性別」は 24 (29.3%)、「その他」は 1 (1.2%)、「何もわからなかった」は 11 (13.4%)、「答えたくない」は 3 (3.7%) だった。「結果が陰性ということ」が最も多く、続いて「胎児の「障害」の有無」や「胎児の性別」だった。

(n = 82)



◇2-5-8 羊水検査を受けた後の対応

「羊水検査を受けた後、どうされましたか」という質問に、「妊娠を継続した」、「妊娠を中断した」、「答えたくない」で回答してもらった。

「妊娠を継続した」は72 (87.8%)、「妊娠を中断した」は2 (2.4%)、「答えたくない」は8 (9.8%) だった。大多数の人は、羊水検査を受けた後、妊娠継続していた。

(n = 82)

